

今回は6月と夏休みの「家庭読書の日」の感想を紹介します！

南郷小学校 令和6年9月

4年

児童

読んだ本「トロッコ」

約19m以上もトロッコをおして、びっくりしました。男の子の3人だけおして、すごいなと思いました。男の2人がかえっていいよといってくれたから、やさしいと思いました。

5年

児童

読んだ本「大渋滞」

ぼくの家族に似ていて、おもしろかったです。

児童

読んだ本「友だち」

一人一人にこせいがありました。それがまさに十人十色だな～って思いました。

児童

読んだ本「スミス先生とおばけ図書館」

おばけでも大男でも分かり合えば、人間と仲良くなれると表していて、私ももっと他の学年と分かち合えたらいいなと思いました。

6年

児童

読んだ本「バスが来ましたよ」

やさしさのバトンを続けていきたいなと思いました。

児童

読んだ本「なみだひっこんでろ」

私もみきさんのように、好きなもののために何かできたらいいなと思いました。

児童

読んだ本「チキン」

私はこの本を読んで、ケンカ、暴力、暴言に関することにくわしたら、それは主人公、「日色拓ひいろたく」のように「かわりたくない」と思ってしまいそうだけど、真中さんのように、そっ直に真剣にできたら、いいだろうなと思いました。また、真中さんのような人が、この世界にたくさんいたらいいなと思いました。

児童

読んだ本「夕焼け色のわすれもの」

翔太がおじいちゃんのために、キャッチボールをしに行くところが優しいなと思いました。私もだれかのために行動しようと思いました。

1年

保護者

読んだ本「みんなでつくったほん」

学童でお友達と一緒に、手作り絵本を作成してきた。チラシの裏に文字、絵がありすべて手書き。覚えた言葉、動物、物、カタカナまで！とても楽しい一生懸命な手作り絵本にホッコリしたよ。ありがとう！

児童

読んだ本「おじさんのかさ」

おとうさんによみきかせをしたのしかかったです。

保護者

読んだ本「からすのてんぷらやさん」

何度も読み聞かせてしているので、天ぷら、かきあげ、天井の違いを、私が料理していても分かるみたいで、会話のタネになっています♪先日、今が旬のキスを父が釣ってくると、捌くのを手伝ってくれ、キスの天ぷらを堪能しました。

保護者

読んだ本「原寸大 昆虫館」

まず本の大きさにびっくり！内容もタイトル通りで、「この蝶こんなに大きいん？」「この虫思ってたよりおっきい！」など、原寸大の虫たちに魅了されました。

児童

読んだ本「あのときすきになったよ」

おもしろかった。わるぐちがあってちょっといやだった。

保護者

読んだ本「さっぱりぎむらい」

体や頭をきれいに洗うことが大事ということが、子どもにも分かりやすい本でした。読書からいろいろなことを学んでいってほしいです。

2年

児童

読んだ本「むしばいっかのおひっこし」

むしばをつくるのに、くろいふででぬっていたのがびっくりしました。

児童、保護者

読んだ本「火災のサバイバル」

サバイバルをはじめてよんだけど、いがいとおもしろかったです。(児)

これまでに借りてきていた本とはうって変わり、学習ができるもので驚きました。2人で楽しく読んで学ぶことができ、嬉しかったです。(父)

保護者

読んだ本「まゆとりゅう」

春を運んできた龍の親子と、それを手伝うやまんばの母子。雪山の景色が変わっていくのを想像しながら、「一緒に飛んでみたい～！」と楽しそうに読んでいました。

児童

読んだ本「まほうの絵本屋さん」

友だちとあそびに行っていた公園が、きゅうに図書館になっていて、ねこがきていてしゃべったりして、ふしぎだなと思った。

3年

保護者

読んだ本「メダネをかけたら」

相手の気持ちを考えることが大切だと分らせてくれる本でした。読書からいろいろなことを学んで欲しいです。

児童

読んだ本「パンダせんとう」

パンダがせんとうに行っておふろに入ったら、黒い部分ごとれて、黒いワックスをぬっていたのがおもしろかったです。

保護者

読んだ本「おかあとおとん」

とても上手に読めました。感情が上手にはいっていました。もっとすらすら読める様になるとうれしいです。関西弁が少しむずかしかったかな？

